

非日常から日常へ

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。法律に基づいた外出自粛の要請などはなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられるほか、医療機関では幅広く患者の受け入れを目指すなど、3年余り続く国のコロナ対策は大きな節目を迎えました。

当法人においても、最低限の感染対策は継続しながら、縮小や中止をしていた活動や行事を、復活・再開しているところです。



ふくらの森

七夕コンサート開催

7月7日の七夕の日に中川香奈子さんにボランティアに来ていただき“七夕コンサート”を開催しました。「さんぽ」等の曲をバイオリンで演奏して頂きました。バイオリンに触れることもでき、利用者さんにとって貴重な体験になりました。当日に誕生日を迎えた利用者さんにサプライズの祝福もありとても盛り上がりました。音楽好きな利用者さんも多く、コロナ前のような笑顔を増やすべく今後も交流を増やしていきたいです。

次ページへ

いぶきやま

図書館活動再開



コロナ前から3年ぶりの図書館です。
利用者みなさん、大好きな本や雑誌を楽しんで
おられます。

ライフまいばら

♪カラオケ再開♪

4年程前に、Wiiuが故障してカラオケができなくなっていたところ、今回、新型コロナウイルスが5類に移行したことを機に、ライフまいばら家族会様から、任天堂スイッチを寄付していただき、カラオケを4年ぶりに再開させていただきました。歌っているみなさんも聞いている皆さんも、にこやかな表情で楽しそうです。



これから、カラオケ活動を定期的で開催させていただきます。利用者の皆さんに、たくさん歌っていただき、いっぱい楽しんでいただきたいと思います。

やまぶき 昼食後の歯磨きを再開

コロナ禍で唾液による飛沫感染のリスクの高さが指摘されたことにより、昼食後の歯磨きを中止しておりましたが、「5類」移行後、ルールを決めての歯磨きを再開しました。ご自分で磨いてもらい、職員は必要に応じて介助を行います。

以前のはみがきの状態に戻していくのに、職員は思いのほか苦勞をしましたが、利用者みなさんに日々清潔な口の中になって頂くことができるようになり、ほっとしています。



ワークスさかた



7月1日 家族会と一緒にBBQを開催しました。

3年ぶりの行事に、皆さんの嬉しい笑顔がいっぱい見られ、日々の仕事を労う時間となりました。



ワークスさぼてん

5月8日以降、ワークスさぼてんでは、館内ではマスク着用、昼食時の飛沫防止パネルは継続しています。事業から仕事を企業に納品する時や企業訪問した際、企業の従業員の方はマスク着用せず仕事されている方も多く見受けられるようになり、施設内と外では景色がずいぶん違うことを実感します。9月には、日帰り旅行を3年ぶりに計画しています。雨が降らないことを祈るばかりです。



(食堂の飛沫防止パネル)

理事長就任の挨拶



社会福祉法人湖北会
理事長
北野 憲一

令和5年6月13日開催されました理事会において、引き続き理事長に就任することとなりました。微力ではありますが、職責を果たしていきたいと考えております。

ここ3年は、法人を上げコロナ予防対策に全力で取り組んでまいりましたが、3事業所でクラスター発生し、利用者、関係者の皆様には、ご迷惑、ご心配をかける結果となりました。この教訓を生かし、今年5月から、感染法上5類に引き下げられましたが、今後とも感染予防に心がけ、その人らしい暮らしを実現するための支援に心掛けていきたいと考えています。

現在、法人を取り巻く状況を見ますと、エネルギー価格を始めとする物価高騰、人材確保問題、障害者福祉に関する法律の改正、それに伴い来年度の報酬改正の見直し等々待ったなしに対応しなければならない課題が山積しております。

このような状況ではありますが、私たちは、障害のある方の支援の専門職集団として、職員一丸となり、「権利擁護」を核に共生・共笑（ともえ）の社会づくりを目指して取り組んでまいりますので、今後ともご支援、御協力の程よろしくお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

2023年6月吉日



社会福祉法人湖北会 役員・評議員 名簿

(理事・監事任期：令和5年6月13日～令和7年に開催する令和6年度のものに関する定時評議員会の終結まで)
(評議員任期：令和3年6月10日～令和7年に開催する令和6年度のものに関する定時評議員会の終結まで)

令和5年6月13日《順不同:敬称略》

役職名	氏名	役職名	氏名
《理事：定員6名／現員6名》		《評議員：定員7名／現員7名》	
理事長	北野 憲一	評議員	川合 行雄
常務理事	吉田 裕明	評議員	今 荘 優
理事	高宮 弘子	評議員	森田 英子
理事	中川 秀子	評議員	高木 ひとみ
理事	岸田 惣吾	評議員	廣部 智子
理事	大岡 賢至	評議員	高山 徹
《監事：定員2名／現員2名》		評議員	木村 寛子
監事	西村 みち子		
監事	大塚 浩司		

2022年度 社会福祉法人湖北会 事業報告

(6月13日評議員会報告より一部抜粋)

評議員会でご報告致しました内容について、主な下記4点についてご報告いたします。

1、新型コロナウイルス感染症についての対応

感染予防の強化に努めてきましたが、残念ながら、年度当初から夏にかけての第7波、秋から冬にかけての第8波の猛威のため、3事業所にてクラスターが発生し、利用者、関係者の皆様にご迷惑とご心配をかけることになりました。その内、2か所の入所施設では職員、利用者のほぼ全員が感染するという災害クラスの感染となり、1カ月近く事業所の活動を休止せざるを得ない事態となりましたが、他事業所からの応援など職員の協力により乗り越えることができました。

2、虐待事案における再発防止について

あそしあ・湖北まこもの再発防止への取り組みとして、改善計画の進捗状況のチェックとマニュアルの作成、また、定期的な外部理事の訪問を通して、内部管理体制の強化に努めました。今年度は、法人内研修としてNPO法人サポートひろがり山田由美子氏の動画、『しない!させない! STOP虐待!』を全職員が視聴し、職員間で意見交換をして人権意識の向上を図りました。実践と研修により、利用者の人権尊重を最優先に、個々の特性に合わせた対応を絶えず考え日々の支援に努めました。

また、今年度から虐待防止に関する体制整備の義務化に伴い、各事業所での身体拘束小委員会から上げられた事案について法人の虐待防止・身体拘束委員会がとりまとめ、分析と防止の取組みが実施できる体制を整えました。

3、工事関係について

民間心身障害者社会福祉施設整備事業により、GHいぶぎ改修工事(大規模修繕)が、6月に入札を終え、10月末に工事が完了しました。

4、職員採用について

年間を通して、正規職員12名の採用を行いました。その内新卒採用者は3名と、法人の次世代を担う人材確保としては、厳しい現状でした。今後も関係機関とも調整しながら、採用活動を継続していきます。



(法人内人権研修)



(改修したGHいぶぎ外観)

法人単位資金収支計算書

(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予 算(A)	決 算(B)	差 異(A)-(B)
就労支援事業収入	44,073,000	37,131,308	6,941,692
障害福祉サービス等事業収入	1,507,180,000	1,507,244,250	△ 64,250
経常経費寄附金収入	835,000	835,605	△ 605
受取利息配当金収入	410,000	402,061	7,939
その他の収入	11,577,000	11,590,128	△ 13,128
事業活動収入計 (1)	1,564,075,000	1,557,203,352	6,871,648
人件費支出	1,092,407,000	1,092,282,433	124,567
事業費支出	168,768,200	168,716,202	51,998
事務費支出	152,806,000	151,237,859	1,568,141
就労支援事業支出	43,512,000	37,882,331	5,629,669
支払利息支出	1,975,000	1,971,837	3,163
その他の支出	7,296,000	7,291,476	4,524
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0
事業活動支出計 (2)	1,466,764,200	1,459,382,138	7,382,062
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	97,310,800	97,821,214	△ 510,414
施設整備等補助金収入	23,348,000	23,348,000	0
施設整備等寄附金収入	1,204,000	1,203,500	500
施設資金借入金収入	0	0	0
固定資産取売却収入	975,000	975,000	0
その他の施設整備等による収入	0	0	0
施設整備等収入計 (4)	25,527,000	25,526,500	500
設備資金借入金元金償還支出	39,853,000	39,853,000	0
固定資産取得支出	36,589,000	36,587,321	1,679
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,724,000	1,723,680	320
施設整備等支出計 (5)	78,166,000	78,164,001	1,999
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 52,639,000	△ 52,637,501	△ 1,499
積立資産取崩収入	0	0	0
その他の活動による収入	0	0	0
その他の活動収入計(7)	0	0	0
積立資産支出	42,445,000	42,414,062	30,938
その他活動による支出	0	0	0
その他の活動支出計(8)	42,445,000	42,414,062	30,938
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 42,445,000	△ 42,414,062	△ 30,938
予備費支出 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,226,800	2,769,651	△ 542,851
前期末支払資金残高(12)	690,342,000	667,498,507	22,843,493
当期末支払資金残高(11)+(12)	692,568,800	670,268,158	22,300,642

法人単位事業活動計算書

(自)平成4年4月1日 (至)令和5年3月31日

(単位:円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増 減(A)-(B)
就労支援事業収益	37,131,308	36,833,589	297,719
障害福祉サービス等事業収益	1,507,244,250	1,463,438,303	43,805,947
経常経費寄附金収益	835,605	1,193,328	△ 357,723
サービス活動収益計 (1)	1,545,211,163	1,501,465,220	43,745,943
人件費	1,104,067,120	1,064,460,095	39,607,025
事業費	168,716,202	155,158,588	13,557,614
事務費	151,237,859	152,237,229	△ 999,370
就労支援事業費用	37,725,826	38,619,656	△ 893,830
減価償却費	129,939,646	121,278,528	8,661,118
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 46,810,357	△ 37,070,247	△ 9,740,110
サービス活動費用計 (2)	1,544,876,296	1,494,683,849	50,192,447
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	334,867	6,781,371	△ 6,446,504
受取利息配当金収益	402,061	300,054	102,007
その他のサービス活動外収益	14,079,088	11,120,666	2,958,422
サービス活動外収益計 (4)	14,481,149	11,420,720	3,060,429
支払利息	1,971,837	2,015,149	△ 43,312
その他のサービス活動外費用	7,320,676	6,422,805	897,871
サービス活動外費用計 (5)	9,292,513	8,437,954	854,559
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	5,188,636	2,982,766	2,205,870
経常増減差額(7)=(3)+(6)	5,523,503	9,764,137	△ 4,240,634
施設整備等補助金収益	23,348,000	245,537,800	△ 222,189,800
施設整備等寄附金収益	1,203,500	0	1,203,500
固定資産売却益	974,996	941,783	33,213
その他の特別収益	0	0	0
特別収益計(8)	25,526,496	246,479,583	△ 220,953,087
固定資産売却損・処分損	601,390	9,501,288	△ 8,899,898
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0
国庫補助金等特別積立金積立額	20,583,000	240,922,800	△ 220,339,800
その他の特別損失	0	0	0
特別費用計(9)	21,184,390	250,424,088	△ 229,239,698
特別増減差額(10)=(8)-(9)	4,342,106	△ 3,944,505	8,286,611
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	9,865,609	5,819,632	4,045,977
前期繰越活動増減額(12)	1,117,285,244	1,147,650,045	△ 30,364,801
当期末繰越活動増減額(13)=(11)+(12)	1,127,150,853	1,153,469,677	△ 26,318,824
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他積立金取崩額(15)	0	11,473,409	△ 11,473,409
その他積立金積立額(16)	33,964,982	47,657,842	△ 13,692,860
次期繰越金活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,093,185,871	1,117,285,244	△ 24,099,373

法人単位貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	745,177,842	865,106,487	△ 119,928,645	流動負債	150,227,255	274,652,862	△ 124,425,607
現金預金	430,777,157	328,025,607	102,751,550	事業未払金	73,505,824	196,371,651	△ 122,865,827
事業未収金	269,666,548	253,360,980	16,305,568	1年以内返済予定設備資金借入金	26,075,000	27,353,000	△ 1,278,000
未収金	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	574,560	1,723,680	△ 1,149,120
未収補助金	75,000	239,158,000	△ 239,083,000	預り金	49,872	58,379	△ 8,507
商品・製品	102,460	54,680	47,780	職員預り金			0
原材料	1,251,528	1,123,270	128,258	賞与引当金	50,021,999	49,146,152	875,847
立替金	37,040,045	35,552,520	1,487,525				
前払費用	6,265,104	7,831,430	△ 1,566,326				
仮払金	0	0	0				
固定資産	3,126,154,779	3,184,780,161	△ 58,625,382	固定負債	404,534,156	442,300,828	△ 37,766,672
基本財産	2,398,767,617	2,483,216,322	△ 84,448,705	設備資金借入金	293,283,000	331,858,000	△ 38,575,000
土地	13,100,000	13,100,000	0	リース債務	0	574,560	△ 574,560
建物	2,384,667,617	2,469,116,322	△ 84,448,705	退職給与引当金	111,251,156	109,868,268	1,382,888
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	負債の部合計	554,761,411	716,953,690	△ 162,192,279
その他の固定資産	727,387,162	701,563,839	25,823,323				
建物	55,490,937	58,888,802	△ 3,397,865	純 資 産 の 部			
構築物	48,315,017	51,006,816	△ 2,691,799		当年度末	前年度末	増減
機械及び装置	3	363,896	△ 363,893	基本金	463,338,423	463,338,423	0
車輛運搬具	29,169,302	36,910,535	△ 7,741,233	基本金	463,338,423	463,338,423	0
器具及び備品	25,391,353	19,733,036	5,658,317	国庫補助金等特別積立金	1,303,936,529	1,330,163,886	△ 26,227,357
建設仮勘定	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	1,303,936,529	1,330,163,886	△ 26,227,357
有形リース資産	438,480	1,753,920	△ 1,315,440	その他の積立金	456,110,387	422,145,405	33,964,982
無形リース資産	136,080	544,320	△ 408,240	工賃変動積立金	9,747,482	9,010,000	737,482
ソフトウェア	0	0	0	設備等整備積立金	1,134,744	1,134,744	0
投資有価証券	50,000	50,000	0	人件費積立金	38,500,000	38,500,000	0
退職共済預け金	111,251,156	109,868,268	1,382,888	修繕費積立金	361,826,635	328,826,635	33,000,000
工賃変動積立預金	9,747,482	9,010,000	737,482	備品購入積立預金	44,901,526	44,674,026	227,500
設備等整備積立預金	1,134,744	1,134,744	0	長期前払費用	0	0	0
人件費積立預金	38,500,000	38,500,000	0	その他固定資産	1,034,447	298,841	735,606
修繕費積立預金	361,826,635	328,826,635	33,000,000	次期繰越活動収支差額	1,093,185,871	1,117,285,244	△ 24,099,373
備品購入積立預金	44,901,526	44,674,026	227,500	(うち当期活動収支差額)	9,865,609	5,819,632	4,045,977
長期前払費用	0	0	0				
その他固定資産	1,034,447	298,841	735,606	純資産の部合計	3,316,571,210	3,332,932,958	△ 16,361,748
資産の部合計	3,871,332,621	4,049,886,648	△ 178,554,027	負債及び純資産の部合計	3,871,332,621	4,049,886,648	△ 178,554,027

新顔登場

新入職員紹介

- ①出身市 ②配属先
- ③趣味・特技
- ④入職にあたっての抱負



おおと ゆうすけ
大音 祐介

- ①長浜市
- ②あそしあ
- ③野球、スキー、読書
- ④常にどんなときでも利用者様の目線で考え行動するというのを忘れず、責任を持ってより快適に楽しく過ごしていただけるよう、誠心誠意取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。



左：後藤さん 右：能政さん
ごとう さちこ
後藤 幸子

- ①米原市
- ②いぶきやま
- ③園芸、AltSaxを吹くこと
- ④有期職員として働いていましたが8月から正規職員として働くことになりました。利用者様ひとり1人に寄り添い、安心安全な生活が送れるように日々努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

シリーズ おすすめスポット vol.26 メタセコイヤ並木



春



秋



夏



冬

私のおすすめスポットは、メタセコイヤ並木（高島市マキノ町蛭口～牧野）です。並木道はおよそ2.4km、道の両側に500本のメタセコイヤが植えられています。人気のキッカケは、大ヒットした韓国ドラマ[冬のソナタ]の舞台に似ていると話題になったことです。

メタセコイヤ並木が造られたのは、今からおよそ40年前。山々から吹き下ろす北風から、田んぼや畑を守る防風林として造られました。それから40年、高さ約25mそびえ立つように育ったメタセコイヤ達。1年の間に、幾度も表情を変える、美しい景色を楽しませてくれています。私は、毎日愛犬の「ナナ」とこのメタセコイヤ並木を眺めながら散歩しています。是非、湖西の方へ足を向ける事があれば、立ち寄って下さい。（湖北まこも 野崎）

編集後記

皆さんいかがお過ごしでしょうか？

5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、表面上、制度上はコロナ前と同じ日常に戻った事になりますが、楽しめていますか？さまざまな制約も無くなり、活動も再開され、賑やかな映像やエピソードが増えてきたことは本当に嬉しく思います。ですが本当に戻ってきたのでしょうか？私は未だに何かに遠慮をしているような感覚が拭えません。コロナによって私たちが被った心と体、人生への負担はあまりにも大きく、さまざまに人の心の制約が解消されていないのが現状ではないかと感じています。それでも少しずつ新たな日常の更なる日常に抗い、慣れていくしかないのかなと感じていますし、戻る、戻す事には時間がかかるものだと痛感しています。

人の権利も同様で、権利侵害や虐待など、事案は一瞬であってもその心の回復には大変な時間がかかるのだと思います。コロナは全ての人に降りかかる災害でしたが、未だ障害のある方たちにだけ降りかかる差別や区別のような災害や虐待は存在しています。障害のある方たちと関わるものとして、制度上や表面上だけでなく、我が事としてその予防と解消に努めていけたらと思っていますし、コロナだけでなく、すべての人の心が晴れる日が来ることを願ってやみません。

(編集委員 阿藤)

湖北会後援会への入会のお願い

令和4(2022)年度は、個人308名と会員の輪が広がり、法人ならびに事業所に455,000円の助成を行なうことができました。ご支援、誠にありがとうございました。

今年度も新役員を中心に、引き続き入会の継続・新規の入会をお願いし、少しでも会員の輪を広げていきたいと考えています。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

個人会員 ー□ 1,000円
団体会員 ー□ 5,000円

郵便振替口座
00950-8 232378
名義 社会福祉法人 湖北会 後援会

社会福祉法人湖北会は、遠方の児童施設を利用している年齢超過の人たちの受入れ、福祉過疎といえる湖北地方の知的障害者福祉の拠点となるべく昭和57年に誕生しました。

開設に至るまでには、初代理事長である故松村良藏氏を中心に一市十二町(当時)の知的なしょうがいのある方の家族の陳情・街頭募金(竹筒貯金)等の幅広く根強い運動が展開されました。

この運動が発端となって、現在の湖北会后援会活動につながっています。

社会福祉法人湖北会は現在、「湖北まこも」「あそしあ」「ワークスさかた」「ふくらの森」「いぶきやま」「ワークスさぼてん」「やまぶき」「ライフまいばら」「ゆるり」のしょうがい者施設と8つのグループホーム、居宅介護および放課後等デイサービス事業「あ〜と」、相談支援事業「すだち」の経営実施、また、相談支援事業の働き暮らし応援センターの委託経営等を行っております。核としての点が線となり、今、面となって湖北圏域の知的しょうがい者を支える体制が整いつつあります。

この「後援会」は、「すべてはあなたの『笑顔』のために」を理念にあげる湖北会のますますの発展と湖北圏域のしょうがい者の福祉向上を願い、支援するサポーターです。

この趣旨をご理解いただき「社会福祉法人湖北会后援会」にご加入いただき、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

湖北会后援会